

よっ葉だより

2023年
3月6日号
No.734

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860
群馬県 861
茨城県 862



石巻市(広域圏)地域の今、見えてきた課題・大川小学校の事

石巻市、東松島市・女川町・南三陸町の二市二町(20万人)は東日本大震災では人的物的に最大被災地と言われています。またあの日がやってきます、12年。人間で言えば13回忌、参加人数を制限し今年も対面で行う各市町の追悼式も何か形式的な感じがします。この地域でも「風化」が進んでいるからかなと実感しています。「被災地は課題先進地」でした。震災が語ってきた大事なことを改めて考え続けています。

石巻市内では高いビルが建ち防潮堤も整備されその川や海沿いの景色に違和感を持ちます。市民生活は復旧工事も復旧景気も終わりある意味での指針、飲食歓楽街はコロナもあり静まり返っています。他の町も高台移転が進み食や職と住が切り離され観光や交流、定住人口増を必死に訴えています。そんな中、ボランティアなどで他所から来た若者たちがこの停滞、不透明な今を打破するように地域を巻き込むチャレンジを始め演劇・映画・音楽祭り・地ビール・アートフェス・市民ミュージカル・水産業者の会などで継続的な活動をし市民を巻き込んでいます。加えて引きこもり・不登校・児童の遊び場・グリーンケア・高齢者の貧困・障がい者や生活困窮者支援、小さなカフェ活動等々被災地ならではの震災後見えてきた課題を少しでも解決しようと活動しています。女川町の原発は震災で辛うじて外部電源喪失を免れ、反対運動の成果で一基が廃炉になったものの残る2基の再稼働が決まりました。人口6000人だが原発労働者は4~5000人とも言われ町の経済効果から全原発廃炉は難しいと町会議員の話です。

大川小学校跡地には、かなりの回数訪問してきていつも誰がしかが訪れています。防災という面は確かに大事なことです、74名の子供たちを亡くした父母その家族の傷心を思うとお金に代えられない大切な心の問題を今の社会の現状と重ね合わせ、しっかり考えよう、風化はさせないと自分に言い聞かせています。

参考まで

大川小学校映画 <https://ikiru-okawafilm.com/>

facebook <https://www.facebook.com/IkiruOkawafilm>

twitter <https://twitter.com/IkiruOkawafilm>

<野菜加工場の若者たちについて>

「共感共苦 コンパッション

意識されない条件反射のような哀しみ。

土砂降りの雨の中でたたずむ人は傘をさしてほしいの

ではなく、一緒に雨に濡れてほしいだけ、、、」

神奈川県 K2 インターナショナルグループ代表 金森克雄氏のウェブ年賀状より文面の一部、掲載承諾を頂きました。

「...一緒に雨に濡れてほしいだけ...」という一行が刺さりました。野菜加工場の引きこもりの若者たちは7名がスタッフとなり内3名が正社員になりました。何か上から目線の就労支援ではない、伴走でもない、今は支え合うと考えています。

一緒に雨に濡れる...とは、彼らの過去や今を我がことにするということ、何故ならあの3.11で突然私(たち)は一転して弱者になり、そしてそれを抱え今の社会を見渡すとあらゆる弱者の存在が見えてきて苦しくなります。貧困、格差、虐待、育児放棄、介護関係、不条理な死、自死、いじめや不登校、そして引きこもり、子殺し、国内外の避難民、あくせく働き1日が終わる日々...数え上げたらきりがありません。一緒に濡れる時に初めて見えてくる弱者の視点に立つこと。野菜加工場の若者たちは今の私や社会を映す鏡になっています。私たちは彼ら弱者にどう映っているんだろう。人の目を見れない、どう思われているか過度の心配、必要とされない、心の居場所もない、孤立、人間不信...はすべてこの社会が作ったと言えます。被災して苦しんできた私には、彼らのリストカットの傷の下に過去の深い苦しみの傷が見える。よく言われる福祉ではない、ひとり一人が本当に悩み苦しんできた人たちだからこそ見つけられるまだ見えない世界を作業を通じて見つけ考えて行ければ...

苦しみぬいた若者が初めて見せた素敵な笑顔で私は元気・勇気ももらった、そして私が変わると若者もまた変わる、笑顔と元気の方程式。この工場は5年になるがまだ収支トントンにもならない。それはきっとまだ私とその雨に濡れていないからだろう。人として大切なことを知って変われば、その人に、家族に友人に伝わり拡がっていくと信じている。今若者たちに「どうなりたい」「幸せって何だろうね」と雨に濡れながら問いかけが始まった。若者たちと私たちの未来を作って行こう。

<昨年発刊した震災日記「抗う」について>

お買い上げいただいて有難うございました。お陰様で3000部が残り少なくなりました。迷い続けた校正でしたが発刊してよかったと思います。繋がっていた方は感想からその方の別のお顔を、初めての方は何か月もかけて読み終えた、或いは読み切れないとお便りをいただきました。思い出したくない、自分と向き合いたくないのでしょうか、社内でも当地でも感想は全くもらえてません。少なくとも新たな繋がりが出て来て今年は小さなチャレンジをと賀状に書きました。弱者の視点で違和感をみがき抗うチャレンジです。会社や地域とであり、よっ葉生協の皆さんとであり、もしかしたら福島へかも知れません。またお会いしましょう。有難うございました。

2023年2月8日

2ページにつづく

宮城県石巻市 (株)高橋徳治商店 代表取締役 高橋英雄

<参考>・・・寄稿依頼で文字数が2000文字を超えたので参考で

以下は野菜加工の若者たちとのエピソードです。

日々の作業を通じて彼らはいろんな情態を見せてくれます。例えば、心の拠り所というのであれば、彼らもよく分からないので世間で言われている目一杯頑張ること、生産性をあげることに、そして認められることです。レモンの作業では気を付けないとガンガン作業し1日で800kgも製品化してしまいます。当然粗い仕事でいい製品にはならないのですがとにかく急いでやっつけ仕事になってしまいます。加えて作業が遅い若者は自分のペースが乱され早い若者に追いまわられてしまいます。仲たがいがでて嫌な空気になったことがあります。

「この吹きだまりに吹き寄せられてきたもの同士、ケンカするなよな!」「早いから偉い訳じゃない、遅いから偉い訳じゃない!」
「ここは居場所なんだよ。みんなで助け合って製品のたまりを無くし流れる様な作業を考えてこそ作業やこころの居場所になるんだ!」
「早い子は遅い子を支え、遅い子は早い子を助け、いい関係になれば効率はおのずと上がります=声を掛け合おう」
「考えることが苦手な子は考える訓練をしよう」・・・そして深層心理、たくさんのごことが発見できます。

私もですが彼ら彼女らは「私(たち)の今、情態や状況を写す鏡なんですね」

今は、「あなた達はどうなりたいの?どうなれば楽しく幸せを感じるの?」という質問を元NPOの女性との月一の面談でまた一つのドアを叩いて

間接的に作業やみんなの関係性や個人の考えや世間話的に聞いています。正解はないのですが、私も若者も苦しんできたからこそ求める喜びや幸せは、世間で言われる幸せ感とは違う気がするんです。

直接間接被災した練り製品工場本体スタッフに これまでの野菜加工場での学びを繋げていきたいと考えてすこし見えてきたところ



「放射能から子どもを守る募金」を元に活動継続しています

組合員の皆様にご協力いただき、よつ葉生協が今も継続して取り組んでいる「放射能から子どもを守る募金 [900](#)」。よつ葉だより No.727 (12月19日号) 2ページでご紹介した「那須希望の砦」(放射能測定と除染活動)を含めて3つの団体へ支援しています。

「那須塩原 放射能から子どもを守る会」「子共の未来を考える会ハチドリ」はそれぞれ、那須塩原市や矢板市を中心に子どもの甲状腺エコー検査を実施している団体です。甲状腺検査に関する講演会なども開催しています。

年末に「那須塩原 放射能から子どもを守る会」代表の手塚さんからご報告を頂きました。

よつ葉生協の皆様

お世話になっております。那須塩原 放射能から子どもを守る会の手塚です。

日頃より那須塩原 放射能から子どもを守る会の活動へのご理解と毎年ご寄付もくんだり、感謝申し上げます。

2014年より那須塩原市内で毎年行っている甲状腺のエコー検査について近況のご報告をさせて頂きたいと思っております。

一昨年はコロナの影響により断念しました甲状腺エコー検査ですが、昨年再開し、今年も10月に開催いたしました。

感染対策を取りながらの開催でしたので、例年より定員を減らしてはありましたが、それでも定員いっぱいになることなく、

昨年も今年も例年の半分ほどのお申し込みでした。

体調不良などのキャンセルもあり、今年は32名が受診されるにとどまりました。

しかしそれでも新規受診される方が半数ほどいらして、「甲状腺の心配をしていたので、受診できて良かった」「どこに相談すればよいのかわからなかったが、甲状腺のエコー検査を実施している団体があると知ってほっとした」などのお声を頂きました。

世間では忘れられてきている原発事故ですが、福島県に隣接している栃木県で、あの時もっと注意していれば良かったのではないかと、本当に大丈夫だったのだろうかとずっと脳裏にある方はまだまだいらっしゃると実感しています。そうした方に情報が届くよう、エコー検査のチラシ配布の工夫をしていこうと思っております。

エコー検査の結果は今のところ放射能の影響による深刻な状況な方はありません。

甲状腺に問題のある方はたまにおられますが、殆どが要経過観察か、あるいは甲状腺の問題はそれに対処すれば普通に暮らせるので問題が見つかった方も安心して頂けています。

今後も皆様に安心して頂ける様、活動を続けてゆきたいと思っております。

那須塩原 放射能から子どもを守る会
手塚 真子



制服リサイクルバンクのご案内



「あげたい人」から「ほしい人」へ！「卒業」した制服を、お近くの「制服リサイクルバンク」へご寄付ください

この春お子さんが学校を卒業される皆さま、おめでとうございます！進学はおめでたいけれど、制服、体操服、通学カバン、指定の靴、、、一式揃えるのに7万？10万？まだ足りない？ おまけに伸び盛り、途中で買い替えも必要、、、

まだ着られるけどもう決して着ることはない思い出の制服を次の人に活かしてもらい取り組みが広がっています。「誰一人とり残さない社会」へ、物を大切に使い支え合うことを「あたり前」にしていきましょう！

※詳細はそれぞれの活動団体にお問い合わせください。

◇足利市：「足利市制服リサイクルバンク」

消費者団体「足利市くらしの会」が運営。

対象：市内中学校・高校の制服、体操着、通学鞆、ランドセル等

連絡先 TEL：0284-73-4411（平日 10：00～15：30）

◇小山市：「制服バンクおやま」

民生委員・児童委員が中心となって運営。

対象：市内中学校の制服・体操着、通学鞆、ランドセル、学校用品等

連絡先 TEL：080-5764-0701（代表：望月様）

◇佐野市：「スクールリユース リボン」

市立北中学校区地域コーディネーター・学校支援ボランティアが運営。

対象：北中学校区の制服・体操着・柔道着

連絡先：佐野市市民活動センターここねっと（登録団体スクールリユース リボン）TEL：0283-20-5166

◇宇都宮市：「星が丘中学校制服リサイクルバンク」

戸祭地区まちづくり協議会・民生委員・児童委員中心の実行委員会が運営。

連絡先：戸祭地域コミュニティセンター

TEL：028-624-0632

◇矢板市：「制服リサイクルバンク」

NPO 法人「風車」が、矢板中・片岡中の制服を対象に活動。

連絡先 TEL：080-1073-2269（渡辺様）

◇栃木県：「なないろ学生服回収 BOX」

NPO 法人「栃木県こども応援なないろ」が回収ボックスを県内各地に設置。集まった制服は必要な家庭に安価で販売。売上の一部は栃木県内の子どもの衣食の支援に役立てられる。

対象：栃木県内の中学校・高校の制服

連絡先 TEL：080-5453-7933（皆川様）

◇高崎市：「制服バンク “幸せのパス” 活動」

社会福祉法人みどの福祉会が運営。

対象：主に県内高校の制服

連絡先 TEL：0274-42-0111（丸茂様）

◇前橋市：「制服バンク」

クリーニング店「洗濯工房 COCOA（ココア）」が前橋市の中学校の制服を「譲りたい」家庭から「譲って欲しい」家庭へクリーニングをして無償譲渡。

連絡先：洗濯工房 COCOA（ココア）

TEL：027-243-5580（8:00～21:00）

◇茨城県：「いばらきけんなん制服バンク・ランドセルバンク」

認定NPO 法人 NGO 未来の子どもネットワークが運営。

対象：県内中学校、高校の制服、ランドセル

連絡先 TEL：0297-62-8932

◇つくば市：制服リサイクル

「荃崎家庭教育と地域を考える会」が運営。

対象：荃崎地区の小学校3校（第一、第二、第三小）の体操着、中学校2校（高崎、荃崎中）の制服、体操着、ジャージ

連絡先 TEL：電話 029-876-0568

（三澤さん、平日の午前9時～正午）

なないろ学生服回収ボックス設置場所 一部抜粋

- コープ鶴田店フジドライ
- さくら市社会福祉協議会本部
- さくら市上松山児童センター
- 泉が丘整骨院(宇都宮市)
- サトーカメラ宇都宮本店、細谷店、築瀬店、大田原浅香店
- 文星芸術大学
- 株式会社ドコモ CS 栃木支店、ドコモショップ那須塩原店、鹿沼店様、岡本店
- 那須塩原市社会福祉協議会本所
- クリーニングミツボシたいらや石井店、福田屋ショッピングプラザ宇都宮店、アピタ宇都宮店、豊郷台ミュゼ店様
- オーガニックララカフェ（宇都宮市）
- 村井クリニック（宇都宮市）
- 認定NPO 法人うりずん（宇都宮市）
- 作新学院大学
- 宇都宮市立城山中学校
- 栃木県青年会館コンセーレ



組合員さんの声

10月26日開催

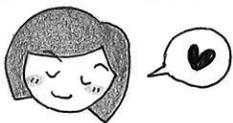
全国オーガニック給食フォーラムの感想

JAは敵ではない！ 高齢化で少なくなっている農業生産者であるとの理解を深め、子どもたちのために、共に考えていきたいと思っ直すことが出来たのも良かったです。栃木県が誇る稲葉光國さんが紹介され動画に出てきたこと、浅野市長もこちらに参加してくれたこと、この環境において、学校給食オーガニック化は遠い目標ではないことを実感できました。一日一食を本物の食材に、そしてここにさらに給食の無償化が実現されれば、全ての子の未来につながると思いました。

(下野地区 M・Yさん)

時々、震災孤児を支援する募金を1口、2口としていますが、3県に100万円ずつ寄附できる金額が集まるなんてすごいです。(そして、各々噂さんからよつ葉生協あてに、お礼状が来るなんて、それもすごいですね～!) みんなあたたかい心を持っているんだと思いました。

(古河地区 Y.Oさん)



コミュニケーションカード

ご意見、ご要望、何でもどうぞ。配達時に提出してください。

配送担当者へのメッセージカードとしても!!

組合員番号	組合員名

※寄せられたご意見は、よつ葉のサービス向上のために、よつ葉だより、くらら等に掲載させて頂く事があります。

掲載しても 良い 悪い

※寄せられたご意見は、よつ葉生協のサービス向上の為、それ以外には、一切使用いたしません。

文化イベント情報

■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先をお願いいたします。

栃木

- イベント 栃木おやこ劇場 第156回例会
人形劇「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」
- 日時 4月16日(日) 14:00(開場13:30)
- 会場 栃木市大平文化会館
(栃木県栃木市大平町蔵井2001-3)
- チケット 全席指定 A席2800円 B席2300円
団体(5名以上) A席2500円 B席2000円
当日券は各200円増し
※よつ葉組合員は団体割引でご案内
4歳未満無料*席を取る場合は有料
おやこ劇場会員は会費のみ
- 内容 クラスの音読コンクールに出ることになった萌美と慶司とえりか。しかし、萌美がうまく音読できず、えりかは不満いっぱいだった。また、慶司もお父さんと釣りに行けないことには腹を立てていた。そして、大泥棒になりたい男・江城秀元。そんな中、えりかと慶司と江城は、ふしぎな駄菓子屋『銭天堂』に巡り合う。店主・紅子の販売する駄菓子屋は、お客様に特別な効果をもたらす。3人の願いはかなうのか?
- 申込・問合せ NPO 栃木おやこ劇場 TEL 0282-21-8776
主催 HP 栃木おやこ劇場 で検索



ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告 (2月4週分)

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています (単位:円)

栃木コロナ支えあい基金 (860番)	3,500
群馬コロナウイルス対策募金 (861番)	1,600
茨城誰かのために募金 (862番)	2,300
合計	7,400

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。
一口100円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (2月4週分)

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	8,700
震災孤児を支援する募金 (910番)	20,400
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	11,200
合計	40,300

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。
一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/> メールアドレスが変わりました。

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp



ホームページ



Facebook



Instagram

